

# ティンクルなごや通信

院長あいさつ .....	1
ティンクルなごや ウエルネスガーデンまつり .....	2-3
「個別支援計画書」とサービス管理責任者の役割 .....	3
厨房スタッフ紹介 .....	4

名古屋市重症心身障害児者施設  
**ティンクルなごや**  
指定管理者 社会福祉法人 むつみ福祉会  
名古屋市北区平手町1丁目1番地の5  
TEL: 052-916-0333

第 **4** 号  
2018 年 7 月

## 導かれて 支えられて

院長 山下伸子

ご縁がありまして、私は昨年9月にティンクルなごやに参りました。そして、今年の5月から院長を務めております。

多大な覚悟を持って拝命いたしました。これまで診療科部長の経験しかなく、施設長の仕事というものが、右も左も、前も後ろもわからないような状態で、各フロアのスタッフ、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、事務職員、そしてむつみ福祉会本部のみなさん等々、多くの方々に助けられて、なんとか日々を過ごしています。常勤医が私一人になりましたので、他の非常勤の医師にもこれまで以上にご負担いただく仕事が多くなりました。ショートステイも含めて、診察、診療を分担してお願いしています。

周りに目を向けますと、監査にみえた北保健所の所長は、名古屋市立大学の1年後輩でよく存じ上げておりました桐生宏司先生でした。心身障害者コロニーこぼと学園の長坂昌登園長先生は、小児脳神経外科の大先輩で、東海地区だけでなく、



日本の小児の脳神経外科学界を牽引してみえた方で、施設医長は名鉄電車と一緒に通った高校・大学の同級生でした。一宮医療療育センターには、かつて大学病院に勤めていた時に、同じ外科系小児病棟で仕事をした小児外科医がおられ、彼は高校・大学の後輩でした。重症心身障害児者の医療という新しい世界に飛び込んだ気持ちでございましたが、実は、これまでお世話になった先生方との距離が縮んで、関係が深まる結果になっていました。

何より今は、大勢の優しい心をお持ちの人々に囲まれて、ティンクルなごやに入所してみえる皆様の、ひたむきで純真な姿やたくさんの笑顔に支えられていると、実感しています。

まだまだ未熟者ですが、誠心誠意、努力して参ります。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。



# ティンクルなごや ウェルネスガーデンまつり

## 5月26日(土)開催 ご参加・ご協力ありがとうございました

今年も良いお天気に恵まれ、開催することができました。

各フロアの利用者さんの状態を考えながら、みんなで楽しめる方法を試行錯誤しながら準備してきました。今回初めて出店・出演してくださった方々、第1回からいつも協力して下さる利用者さんご家族、ボランティアさん等、様々な方々に支えられて無事終わることができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

### 準備から風船飛ばしまで ～ともに過ごした楽しい時間～

今回のおまつりでは、モニュメント展示のため利用者さんやご家族、スタッフでペーパーフラワーを製作しました。3階東のスパル・ペガサスユニットでもカラフルなペーパーフラワーをたくさん作ったり、看板や板に貼ったりと利用者さんと一緒に準備を行い、まつりの日が来るのを心待ちにしてきました。

まつりの当日は利用者さんのご家族が多く来られました。利用者さんはご家族やスタッフとステージや遊びブースを回り、利用者さんの笑顔をたくさん見ることができまし



た。ステージは歌ったり踊ったりと、楽しめることばかりで会場全体が盛り上がっていました。

遊びブースでも魚釣りや射的をしたり、インスタグラムの顔はめパネルを使って写真を撮ったり、最後に風船とばしをしたりと、時間目一杯使って楽しみました。利用者さんにも楽しい雰囲気がたくさん伝わったのではないかと思います。

池田基恵（3階東 生活支援員）



### 美味しいティンクルまつり

おまつり当日、3階西のオリオンとカシオペアでは、張り切って昼食の準備をする利用者さんの姿がありました。この日の昼食には特別メニューの「ジュースとスペシャルデザート」がつくからです。

自分でジュースの味と、デザートのチーズケーキにかけるソースの種類を選ぶことができると聞いて、みなさんとても嬉しそうな表情をされていました。

スタッフが利用者さんの前に看板を広げ、「どれ

にしましょう」「何味がいいですか」と声を掛けると、自ら手を伸ばされ、好みのものを選ばれたり、パッケージをじっくり見て決められたり、スタッフが種類を読み上げると好みの味で「はい」とお返事を返される方もいました。

次々にそれぞれの大好きな味を集めた「自分だけのスペシャルおやつ」を作られました。

綺麗に絞られたチーズケーキに選んだジャムやソースをかけ、いよいよ実食！！

「おいしい」とおっしゃったり、手でスタッフの腕を引き寄せてはやくはやく、と食べている姿を見て、スタッフも思わず笑みがこぼれました。

オリオンとカシオペアのおまつりはとっても美味しい、思い出に残る一日になったのではないかと思います。

田尻汐璃（3階西 生活支援員）



## ステージイベントも盛り上がりました

ウェルネスガーデンの大きな屋根（センターラーフ）の下では、趣向を凝らした出し物を披露していただき、五感を刺激するような体験もでき、利用者さん家族、ボランティアさん、地域の方々の協力により、楽しく参加することができました。

おまつりのオープニングは、志賀中学校合唱部のみなさんに中学生とは思えないほどにすばらしい歌声を披露していただきました。

NPO法人ポパイさんはアフリカの民族的な踊りを披露していただき、最後には観に来られた方も一緒に踊り、一体感ができました。

健康増進課の方々は、床面の色の違いを利用し、音楽に合わせたステップ運動を教えてくださいました。認知症予防にもなるそうなので、日頃も続けられるといいですね。

桜花学園高等学校インターアクトクラ



ブさんは、ハンドベルやダンス、歌など一人一人が観客のそばに寄り添い、盛り上げてくださいました。

最後にバルーンアートのオペラさんがすばらしいパフォーマンスで締めくくってくれました。イベント終了後には、今回参加できなかった利用者さんの部屋まで足を運んでくださり、かわいい動物などのバルーンアートをプレゼントしてくださいました。

今後も利用者さんが参加でき、地域の方々からも喜ばれるようなおまつりをスタッフ全体で考え、実行できるようにしていきたいと思います。

大森直樹（2階 看護師）

## 「個別支援計画書」とサービス管理責任者の役割

昨年度は、サービス管理責任者専任で1名が事務室で勤務し、サービス管理責任者と生活支援員との兼務として2名がフロアで勤務してきましたが、今年度より、サービス管理責任者専任として2名が事務室で勤務しています。

サービス管理責任者としての大きな役割は、「個別支援計画書」に関わる事柄です。「個別支援計画書」とは一言で言うならば、第三者の方にもその利用者さんがどんな状態で、どんなことをしているのかが分かるようにまとめたものです。

ティンクルなごやでは、6ヶ月に1回、個別支援計画書の見直しを行い評価（モニタリング）し、目標に変更がある場合はその都度、目標に変更がない場合は1年に1回、カフェランス、新しい計画書の作成、ご家族への説明を行っています。

サービス管理責任者は、作成された個別支援計画書が利用者さんのニーズにあったものになっているかを確認し、ご家族への説明を行うとともに、要望

をお聞きしています。

また、重症心身障害児者ということもあり、利用者さんご本人の希望を聞き取ることが難しく、ご家族の希望が組み込まれた個別支援計画書になりがちですが、日々の生活の中でコミュニケーションを多くとり、わずかな表現方法も見逃さずに発見できるようになると、少しずつご本人の希望が組み込まれた個別支援計画書になっていくのではないかなあ…と思っています。

利用者さんにとって安心して過ごしていただける場所、ご家族の方にとって話しかけやすい環境づくりを行っていききたいと思います。

葛谷秀美・傍島 愛（サービス管理責任者）

# 厨房スタッフ紹介

## 見て美しく、食べておいしい食事を 目指しています

今回は、ティンクルなごやのお食事を支えている厨房スタッフをご紹介します。現在、当施設の厨房では栄養士2名、調理師1名の計3人の女性職員が主となって働いています。

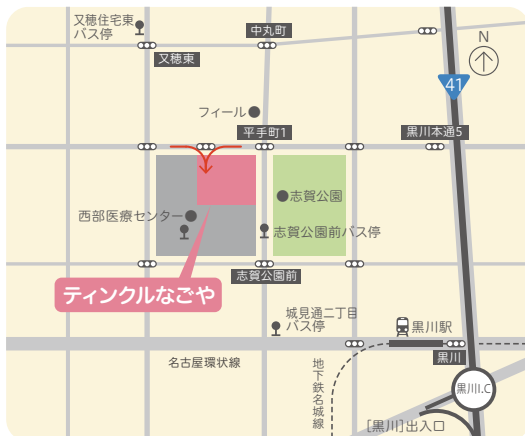
お食事は年中無休で決まった時間に提供されているため、彼女たちは毎朝5時半から働いており、とても大変だと思いますが、「利用者さんたちがおいしそうに食べてくれることがやりがいでしょ！」と、笑顔で話してくれます。ティンクルなごやのお食事は、管理栄養士の私が献立を作成し、厨房スタッフが利用者さんに合わせて形態を変えた調理を行っており、お互いに指摘し合いながらより良い食事を作り上げていけるよう努めています。

以前、利用者さんの親御さんから「食事介助しながら少しつまみ食いさせてもらっ

たけど、ここの食事はすごくおいしいね！」と、声をかけていただいたことがありました。私自身もとても嬉しく思いましたが、厨房スタッフもとても喜んでいました。これからも、どの形態を食べている方にもできるだけ平等に“目で見て美しく、食べておいしい”食事の提供を目指し、日々工夫を凝らしていきたいと思っています。私自身も、利用者さんに喜んでもらえるメニューやイベントをこれからもどんどん考えていきたいと思っていますので、今後も楽しみにしてください。

彼女たちは、なかなか表に出て皆さんと関わる機会はありませんが、ティンクルなごやのスタッフと同じくらい利用者さんのことを思ってくれています。とても気さくな人たちなので、ぜひ声をかけてください。

(管理栄養士 前川ひかり)



### ■公共交通機関でお越しの方

- 栄より/市バス栄11系統「西部医療センター」又は「志賀公園前」下車
- 名古屋駅より/市バス名駅13系統「又穂住宅東」  
/市バス名駅15系統「城見通二丁目」下車

### ■お車でお越しの方 「黒川」出口から約10分です。

名古屋市重症心身障害児者施設 〒462-0057  
**ティンクルなごや** 名古屋市北区平手町1丁目1番地の5  
 (指定管理者) 社会福祉法人 むつみ福祉会 TEL: 052-916-0333  
 FAX: 052-916-0338

ホームページでも、日々の生活の様子や職員メッセージを配信しています。ぜひご覧ください。

<http://twinkle-nagoya.com>

